

# 最高のランドセルに出会うためのチェックリスト



家族みんなの笑顔のために。



1枚で5モデル比較できます→

メーカー/モデル名

		メーカー/モデル名				
1	背負う前	軽く押して「型崩れ」しない？ 丈夫さ・頑丈さを比べるには、ランドセルを抱きかかえて少し力を加えてみよう。				
2		内側に「金属」などがむき出しになっていない？ 教材や指・爪が引っかかってケガしないかチェック。同時に底面を外して掃除できるかも確認しておこう。				
3		肩ベルトや背あてなど「痛い」ところがない？ 特にからだに直接触れる肩・腰・背中是要チェック。腕を振ったり、しゃがんだり、いろいろなポーズで試してみよう。				
4		背あて・肩ベルトの「通気性・クッション性」は？ 小学生の通学時間(往復)の全国平均は47.3分。夏場の炎天下や、ランドセルの重量をカバーする快適性をチェック。				
5	背負いながら	背中とランドセルに「すき間」はない？ 背中とランドセルの間にすき間ができる場合、軽く感じる効果はゼロだと思ってください。ベルト穴を調整して要確認。				
6		正しい「姿勢」で背負えてる？ 腰痛や猫背の原因にならないように、からだの線が傾いていないか、背中とランドセルの中心がそろっているかチェック。				
7		動き回っても「ブレ」ない？ 安定しないランドセルは重心もブレて負担増。前後左右やジャンプしてみても大丈夫かチェックしましょう。				
8		「重り」を入れて背負ってみた？ 空っぽのランドセルを試着しても意味がありません。ペットボトルなど2Kgくらいの重りを入れて、教材が入った状況をシミュレーション。				
9	安全機能	フックは「外れる」安全機能付き？ 自転車・バイク・自動車・電車の扉...想像するだけで恐ろしい巻き込まれ事故、引きずられ事故は未然に防げます。				
10		肩ベルトに「防犯ブザー」の取り付けはできる？ とっさの時に対応できるように、利き手と反対側の肩ベルトに。塾用バッグなどに付け替えるさいに、取り外しが簡単かなども確認しておこう。				
11		前後左右に「反射材」がついている？ デザイン性優先で反射材が不足しているランドセルに注意。360度どの角度からでもライバーにいち早く発見してもらおう。				
12	使いごこち	「A4フラットファイル」に対応している？ いまだき主流のA4フラットファイル幅約23cm対応モデル。(A4クリアファイル対応モデルは、幅が狭くA4フラットが入らない場合あり)				
13		錠前はお子様「ロック」しやすいか？ 錠前も各メーカー触ってみると違いがわかります。オートロック付きか、左右どちらにも回せるか、ケガ防止カバーは付いているか、などを確認。				
14		「持ち手」ハンドルはついている？ お子様は教室のロッカーにランドセルを入れるさい、持ち手がないとカプセを掴んでシワの原因に。大人にとっても持ち手ナシは不便です。				
15	最重要	子どもが「主役」になる？ お子様にとってランドセルは小学生最初の大イベント。憧れていたお兄ちゃんお姉ちゃんになるための証でもあります。ぜひお子様の意見や個性を尊重して、お子様の成長を見守ってあげてくださいね。				